慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 組織の”求心力”に関する一考察 - 組織の持続的成長の視点から - |
| Sub Title | |
| Author | 因藤, 敏治(Indou, Toshiharu)<br>渡辺, 直登 |
| Publisher | 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 |
| Publication year | 2006 |
| Jtitle | |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 修士学位論文. 2006年度経営学 第2117号<br>不可 |
| Genre | Thesis or Dissertation |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2117 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 論 文 要 旨

| 所属ゼミ | 渡辺　研究会 | 学籍番号 | 80530151 | 氏名 | 因藤　敏治 |
|---|---|---|---|---|---|

（論文題名）

組織の”求心力”に関する一考察
－組織の持続的成長の視点から－

（内容の要旨）

本研究で言う「求心力」とは、企業の経営資源で言われる、人、モノ、金、情報のうちの「人に関する求心力」に焦点を当てる。モノ、カネ、情報を企業の成長のために生かすも殺すもその企業の人次第であり、人に対する求心力を高められない企業は、人の流出に伴い、ノウハウ等も企業から出て行ってしまうため持続的成長は難しい。

これまで日本企業においては従業員の会社に対する帰属意識は一般的には高いと思われていたが、この失われた１５年の間、『株主資本主義』『株主価値の追求』を追い求めすぎ、行き過ぎた成果主義に走った結果、従業員の会社に対するロイヤリティーは大きく傷つき、先進国中、日本の従業員の会社へのロイヤリティーは最低水準にあり、日本的経営の根幹を揺るがしかねない状況にあると考えられる。

これまで、求心力に関係する研究として組織コミットメント研究などがあるが、本研究では、既存の２次データを活用し、定着率を会社の求心力の指標とし、それら定着率を含む複数のデータを解析することで、求心力（定着率）に関係してくるデータは何か、をデータマイニング等の手法を使い明らかにした。

データマイニングの結果、規模・伝統（誇り）の指標としては設立年数、報酬の指標としては平均年収、フレキシビリティ（自己実現）の指標としては育児求職取得者数比率、ダイバーシティー（多様性）の指標としては中途採用者数比率増減率、マネジメントその他の指標としては３年度新卒定着率という５つの求心力（定着率）に関係の深い指標を抽出した。

また、それら定着率に関係する指標に関してコホート分析やインタビューを実施することにより企業の求心力を高め、企業が持続的に成長していくためには、「入社前のギャップを埋めるための活動」、「就業形態の多様化への対応、自己実現・キャリア機会の提供」、「理念・ビジョン・価値観の共有の重要性」、「ミドルによる組織の下支え」が重要であることもあわせて明らかにした。